

理科

個別配慮

こたえ

なまえ

てこと電気の利用

がつ にち

□に あてはまる 言葉を書きましょう。

れい

てこを支えている 点を

支点

という。

1 てこには、支点・力点・作用点がある。支点から力点までを長くすると小さな力で持ち上がる。

2 電気は、発電機や光電池で作り、コンデンサーにためて、光・音・熱・動きに変えて使う。

① てこを支えている 点を 支点 という。

② 作用点が 支点と 力点の 間にある 道具に、

くぎぬき

や せんぬきがある。

③ 電気は、電熱線に 流すと 熱 に 変わる。

できた

/ 3もん

